



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 29 年第 42 週 (10/16~10/22) 【概要版】

平成 29(2017)年 10 月 26 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
 - (ア) 感染性胃腸炎は増加しました。過去5年の同時期と比べて高い値で推移しています。また、長浜保健所管内では他保健所管内と比べて多く報告されています。
 - (イ) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加しました。過去5年の同時期と比べて高い値で推移しています。
- (2) A 型肝炎が甲賀保健所管内で報告されました。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	2.63	2.44	4.13		○		多		↑	多		多	↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	1.22	1.38		○		多	多	多	↑		↑	↑

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線: 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	<u>2.86</u>	2.44	<u>2.88</u>	<u>2.82</u>	<u>3.45</u>	1.54	2.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>1.44</u>	1.22	<u>1.59</u>	0.96	<u>1.32</u>	0.87	0.82
手足口病	<u>1.86</u>	1.34	1.14	1.12	<u>3.00</u>	<u>1.54</u>	1.18
RSウイルス感染症	<u>1.46</u>	0.81	<u>1.77</u>	<u>1.29</u>	<u>2.18</u>	<u>1.06</u>	<u>2.13</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

疾病名	滋賀県						保健所別						
	2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
結核	5	5	6	○			3	2		1			
A型肝炎	0	1	1	○					1				
ジアルジア症	0	0	1				1						

- i. 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 29 年第 42 週 (10/16~10/22) 【詳細版】

平成 29(2017)年 10 月 26 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) 報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
 (ア)感染性胃腸炎は増加しました。過去5年の同時期と比べて高い値で推移しています。また、長浜保健所管内では他保健所管内と比べて多く報告されています。
 (イ)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加しました。過去5年の同時期と比べて高い値で推移しています。
 (2) A型肝炎が甲賀保健所管内で報告されました。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)	基準値					
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江		彦 根	長 浜	高 島	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:59)	インフルエンザ	0.06	0.13	0.04				0.09	0	0	0.13	0	0	0	0.17	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.81	0.81	0.75				0.43	0.50	0.50	1.60	0	0.25	3.50	1.46	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.19	0.16	0.13		○		0	0.33	0.25	0.20	0	0	0	0.39	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	1.22	1.38		○		2.57	1.50	1.75	0.80	0.25	0.75	1.00	1.44	8	4	—
	感染性胃腸炎	2.63	2.44	4.13		○		4.29	1.17	2.75	4.60	3.50	11.00	1.50	2.86	20	12	—
	水痘	0.53	0.16	0.25				0.14	0	0.25	0.20	0	1.00	0.50	0.24	7	4	4
小児科 (定点数:32)	手足口病	0.78	1.34	0.81				0.71	1.17	0.50	1.00	1.00	0.50	0.50	1.86	5	2	—
	伝染性紅斑	0	0.03	0				0	0	0	0	0	0	0.06	2	1	—	
	突発性発しん	0.41	0.16	0.38				0.43	0.50	0.50	0.60	0	0	0.50	0.41	—	—	—
	百日咳	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.01	1	0	—	
	ヘルパンギーナ	0.31	0.31	0.56		○	○	1.00	0	0	0.40	0	1.25	2.00	0.36	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0.53	0.50	0.34		○		0.86	0.17	0	0.20	0.75	0	0	0.30	6	2	3
眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—	
	流行性角結膜炎	0.13	0	0.25		○		0	0	1.00	1.00	0	0	0.79	8	4	—	
	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	0	0.29	0.14		○	○	0	1.00	0	0	0	0	0.03	—	—	—	
基幹 (定点数:7)	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.35	—	—	—	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.07	—	—	—	

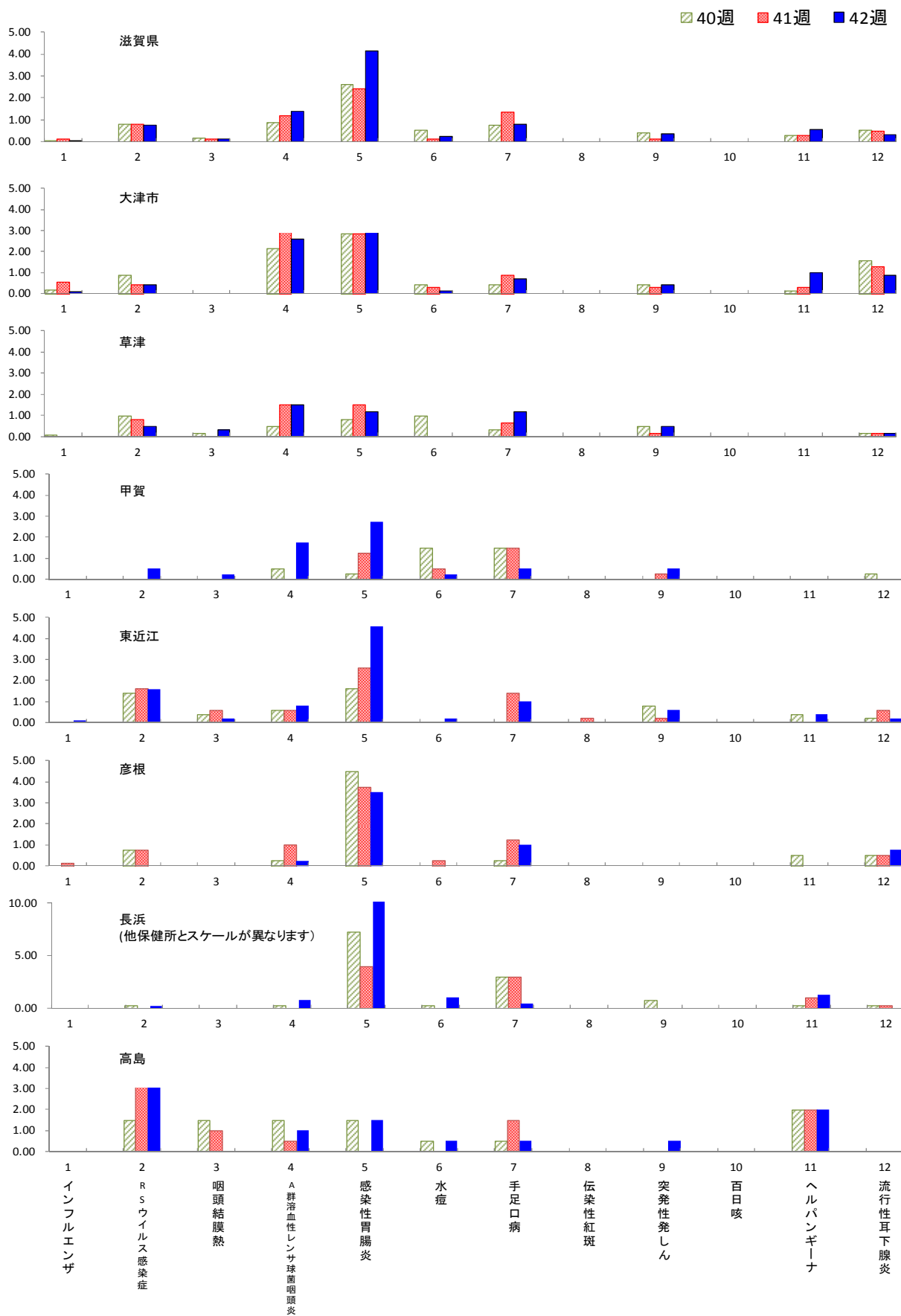
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
大津市保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

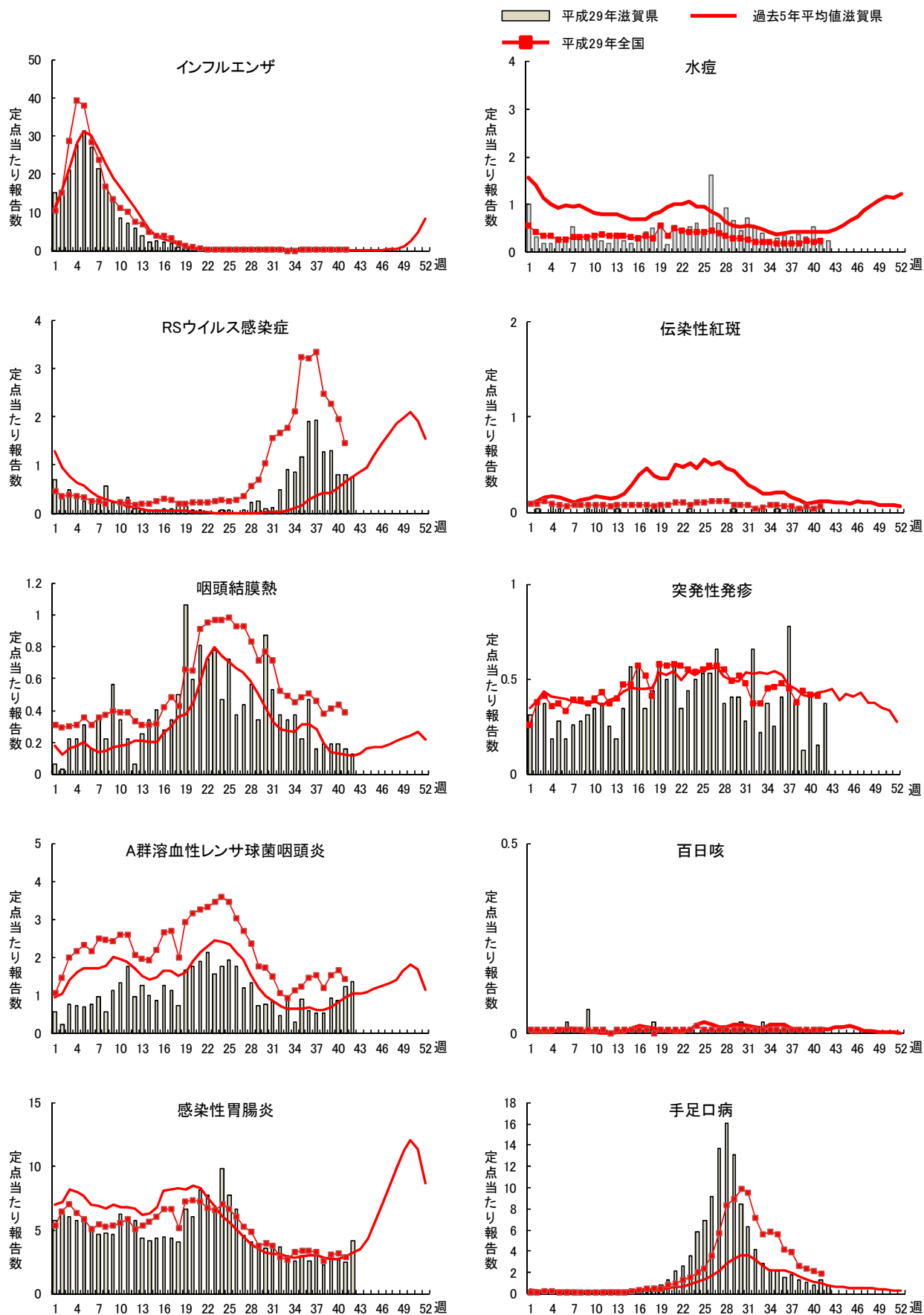
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	24	4	7	11	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	4	-	-	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	44	-	-	-	3	6	4	6	7	4	4	3	4	-	3
感染性胃腸炎	132	4	7	19	15	20	11	13	12	8	2	3	10	2	6
水痘	8	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	2	3	-	-
手足口病	26	2	3	10	6	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	12	-	1	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	18	-	3	4	6	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	11	-	-	-	-	-	2	2	3	2	1	1	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-

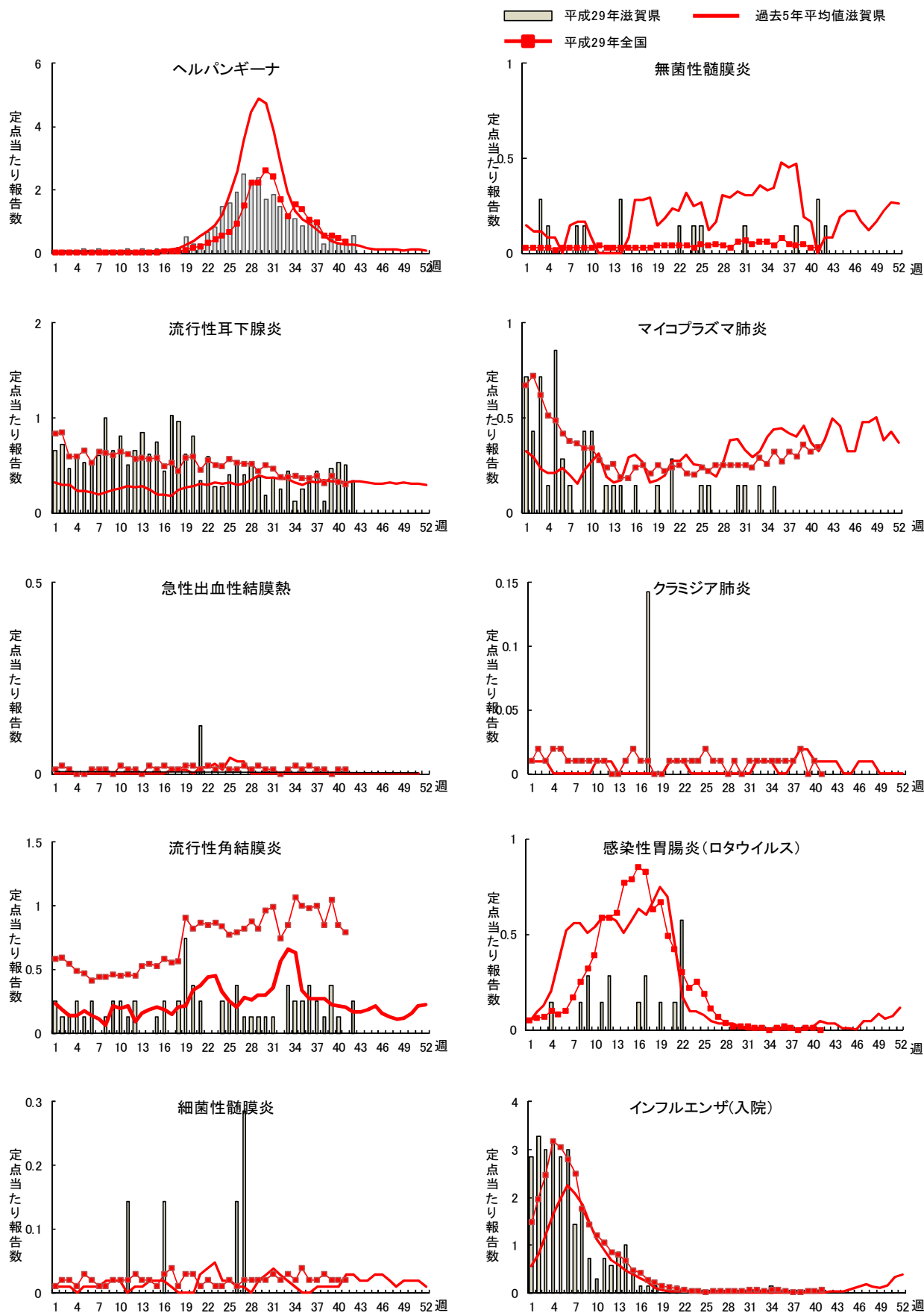
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」; 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	予防接種歴	病原体等
二類	結核	42	大津市	80歳代	女	肺結核	国内	-	-
	結核	42	大津市	30歳代	男	無症状病原体保有者	県内	-	-
	結核	42	大津市	20歳代	男	肺結核/頸部リンパ節結核	国外	-	-
	結核	42	草津	80歳代	男	肺結核	国内	-	-
	結核	42	草津	70歳代	男	肺結核	県内	-	-
	結核	42	東近江	70歳代	男	肺結核	県内	-	-
四類	A型肝炎	42	甲賀	30歳代	男	-	県内	-	-
五類	ジアルジア症	42	大津市	40歳代	男	-	国内	-	-

注目すべき感染症

■ A型肝炎とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/320-hepatitis-a-intro.html>

■ 梅毒

(1) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

(2) Q&A(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

■ 最近報告された麻疹患者に関する医療機関への注意喚起(国立感染症研究所、平成 29 年 10 月 11 日現在)

平成 29 年 10 月 6～9 日にかけて、麻疹症例が感染可能期間中に国内を広範囲に移動していたため、下の情報提供がありました。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/7596-measles20171013.html>

■ 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>

Q&A(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 29 年、全国は前週までの値) vi,vii

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核	○		207	64	53	18	33	18	13	8	17785	249	23854
			14.65	18.77	15.75	12.42	14.40	11.52	8.34	16.22	14.01	17.59	18.79
三類 腸管出血性大腸菌感染症			35	4	7	5	6	6	7	0	3391	56	3641
			2.48	1.17	2.08	3.45	2.62	3.84	4.49	0	2.67	3.96	2.87
四類 A型肝炎	○		5	0	0	2	2	1	0	0	228	7	269
			0.35	0	0	1.38	0.87	0.64	0	0	0.18	0.49	0.21
オウム病			0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	6
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.07	0.00
つつが虫病	○		1	0	1	0	0	0	0	0	114	1	500
			0.07	0	0.30	0	0	0	0	0	0.09	0.07	0.39
デング熱	○		2	2	0	0	0	0	0	0	205	4	338
			0.14	0.59	0	0	0	0	0	0	0.16	0.28	0.27
レジオネラ症			16	1	4	2	5	2	2	0	1367	28	1592
			1.13	0.29	1.19	1.38	2.18	1.28	1.28	0	1.08	1.98	1.25
五類 アメーバ赤痢			3	2	0	0	0	1	0	0	845	8	1133
			0.21	0.59	0	0	0	0.64	0	0	0.67	0.57	0.89
ウイルス性肝炎	○		3	2	0	1	0	0	0	0	231	4	273
			0.21	0.59	0	0.69	0	0	0	0	0.18	0.28	0.22
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	○		10	0	5	0	4	0	1	0	1281	11	1555
			0.71	0	1.49	0	1.75	0	0.64	0	1.01	0.78	1.23
急性脳炎	○		4	1	1	0	1	1	0	0	554	3	750
			0.28	0.29	0.30	0	0.44	0.64	0	0	0.44	0.21	0.59
クロイツフェルト・ヤコブ病			1	0	0	0	1	0	0	0	158	1	172
			0.07	0	0	0	0.44	0	0	0	0.12	0.07	0.14
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○		12	3	5	0	2	0	2	0	430	5	492
			0.85	0.88	1.49	0	0.87	0	1.28	0	0.34	0.35	0.39
後天性免疫不全症候群			8	2	3	0	1	0	2	0	1085	10	1428
			0.57	0.59	0.89	0	0.44	0	1.28	0	0.85	0.71	1.13
ジアルジア症			1	1	0	0	0	0	0	0	46	4	71
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.04	0.28	0.06
侵襲性 インフルエンザ菌感染症	○		2	0	0	0	1	1	0	0	285	3	307
			0.14	0	0	0	0.44	0.64	0	0	0.22	0.21	0.24
侵襲性肺炎球菌感染症	○		37	17	5	3	7	1	4	0	2493	40	2693
			2.62	4.99	1.49	2.07	3.05	0.64	2.57	0	1.96	2.83	2.12
水痘(入院例)	○	○	4	3	0	0	1	0	0	0	243	2	313
			0.28	0.88	0	0	0.44	0	0	0	0.19	0.14	0.25
梅毒	○	○	24	5	9	4	4	1	1	0	4465	30	4518
			1.70	1.47	2.67	2.76	1.75	0.64	0.64	0	3.52	2.12	3.56
播種性クリプトコックス症	○		1	0	0	1	0	0	0	0	105	2	136
			0.07	0	0	0.69	0	0	0	0	0.08	0.14	0.11
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	104	3	128
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.08	0.21	0.10
麻しん			1	0	0	0	0	0	1	0	188	1	159
			0.07	0	0	0	0	0	0.64	0	0.15	0.07	0.13

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

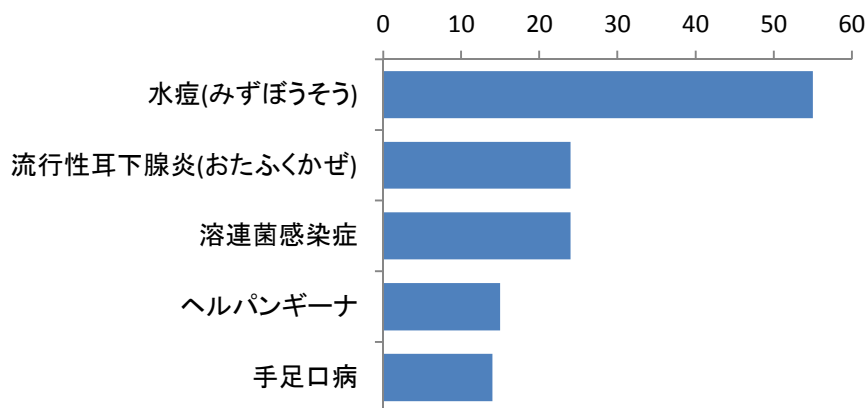


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患
横軸:登録数

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」